**被保険者に係る確認を行う日の２年前の日より前の期間に係る**

**雇用保険の被保険者となったこと（及び被保険者でなくなったこと）の届出に関する聴取書**

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| 届出に係る者 | 氏　　名 |  | | | |
| 生年月日 | 年　　　　月　　　　日 | | 性　別 |  |
| 届出に係る者の雇用保険料の天引きに関する事実 | 天引きを行うこととなった最も古い日 | | 年　　　　月　　　　日 | | |
| 天引きを行った直近の日 | | 年　　　　月　　　　日 | | |
| 提出する給与明細等の  確認書類について |  | | | | |

------------------------------------------------------------------------------------------------

上記のとおり聴取した。

令和　　　年　　　月　　　日　　　　　　　　　　　　　厚生労働事務官

聴取者官職氏名　　　　　　　　　　　　　　　　　　印

上記の聴取書を読み聞かせられたところ、私の陳述の趣旨と相違ない。

令和　　　年　　　月　　　日

事業主　住　　所

名　　称

代表者氏名

電話番号

注意

１　在職者に係る届出の場合には、「（及び被保険者でなくなったこと）」の文字を抹消すること。

２　「天引きを行うこととなった最も古い日」欄には届出に係る者について、雇用保険料を天引きすること

となった最も古い日を記載すること（通常は就職日が想定される。）。

３　「天引きを行った直近の日」欄には、届出に係る者について、雇用保険料の天引きした直近の日を記載

すること（在職者に係る届出の場合には記載する必要はない。離職者に係る届出の場合には通常は離職日

が想定される。）。

４　「提出する給与明細等の確認書類について」欄には、事業主が提出する、雇用保険料の天引きがあった

ことが確認できる給与明細等の確認書類の名称（「給与明細」等）、当該書類の雇用保険料の天引きがあった

ことを確認できる該当箇所（「社会保険料等欄」等）、雇用保険料の天引きの事実の有無を記載すること。

**（例）**

・届出に係る者について、提出した給与明細の「雇用保険料」欄に記載された額のとおり、雇用保険料

の天引きを行っている。

・提出した源泉徴収票の「社会保険料等の金額」欄に記載された額には、雇用保険料が含まれており、

届出に係る者について、当該欄のとおり、雇用保険料の天引きを行っている。